

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
自己発見	2 単位 地域を知る	行政学	堀田 学	1 年次	秋

授業のキーワード	行政、地方自治、ガバナンス
授業の概要	現代社会は、行政の比重が多く、「行政国家」といわれることがあります。また、近年盛んなガバナンスの議論では行政は住民とのパートナーとして考えられています。この授業では行政について考えていきます。
期待される学習成果（目標）	1. 新聞・ニュース等で取り上げる時事問題が理解できる。 2. 政治学と現代地方自治を合わせて履修するとさらなる理解が深まる。 3. 公務員の仕事をイメージできる。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	行政学とは	授業のオリエンテーションと「行政」・「行政学」についての説明をします。	第 9 講	中央地方関係	日本の中央地方関係について説明します。
第 2 講	行政学説史①	行政学の学説について学んでいきます。	第 10 講	地方財政	地方財政について行政学の立場から考えます。
第 3 講	行政学説史②	行政学の学説について学んでいきます。	第 11 講	大都市行政と広域行政	大都市制度について説明します。
第 4 講	国家公務員	日本の国家公務員制度について学びます。	第 12 講	官僚制論①	ウェーバーの官僚制について学びます。
第 5 講	内閣制度	行政を担っている内閣について学びます。	第 13 講	官僚制論②	ウェーバー以外の官僚制論について学びます。
第 6 講	中央省庁	中央省庁について学び、中央省庁での政策形成について説明します。	第 14 講	日本の行政システム	日本の行政システムの特徴について学びます。
第 7 講	予算編成	予算編成過程について説明します。	第 15 講	日本の行政の展望	人口減少、財政赤字のなかでの行政について展望します。
第 8 講	行政改革	日本で行われた行政改革について学びます。	定期試験		重要用語の理解、ならびに各講で取り上げた内容から出題します（記述も含む）。
評価方法		定期試験（１００％）で評価します。 定期試験の受験資格として３分の２以上の出席が必要なので出席は毎回取ります。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
真淵勝『行政学案内（第２版）』慈学社出版、2014年			曾我謙悟『行政学』有斐閣、2013年 西尾勝『行政学（新版）』有斐閣、2001年 外山公美編『行政学』弘文堂、2011年		